

ZW-PonPaSe Ver.0.4

NASTRAN プレート要素自重等の静荷重による応力計算 Word マクロ仕様書

改正来歴

説明書 Rev.	システム Ver.	改正日	改正内容
0.0	0.4	2022/1/31	初版

目次

1. 概要	1
2. 開発環境	1
3. 構成	2
4. システムの参照ファイル.....	2
5. プログラムの詳細	3

参考資料

ZW-PonPaSe Ver. 0.4

NASTRAN プレート要素自重等の静荷重による応力計算 Word マクロ使用説明書

1. 概要

本資料は、NASTRAN プレート要素自重等の静荷重による応力計算 Word マクロのプログラム仕様をまとめたものである。

マクロは応力計算に使用する応力を外部ファイルより読み込みミーゼス応力の計算式を含めた応力計算結果と、計算に使用した箇所の NASTRAN アウトプットリストを Word 文書に出力する。

また、全評価位置の応力計算結果を CSV 形式で出力する。応力計算式はマクロ使用説明書を参照して下さい。

2. 開発環境

開発環境を以下に示す。

- Windows Office365

Microsoft Visual for Applications 7.1

- OS

Windows 10

3. 構成

本システムは、表 3-1 及び図 3-1 に示す 1 つのフォーム、5 つの標準モジュールと 1 つのクラスモジュールで構成している。なお、マクロの実数値は倍精度で処理している。

表 3-1 フォームまたはモジュール名一覧表

フォームまたはモジュール名	内容	コード行数 ^{注3}
UsrMain	ユーザー入力フォーム	446
MdCntl	メインコントロールルーチン	568
MdWord	Word 文書出力ルーチン ^{注1}	365
MdIoNastran	NASTRAN ファイル入出力関連ルーチン(共有ライブラリ ^{注2})	912
MdLibWord	Word 関連ルーチン(共有ライブラリ ^{注2})	703
MdMath	計算関連ルーチン(共有ライブラリ ^{注2})	311
ClassInputControl	ユーザー入力フォームで使用する「参照」ボタン及び「ファイル名」テキストボックスのクラス	123

注 1: 応力計算式は MdWord ルーチンで作成している。

注 2: 他のマクロとの共有ライブラリであり使用していないものも含まれる。また、共有しているため修正する場合は注意すること。

注 3: マクロの行数を示す。なお、コメント行および空白行を含む。

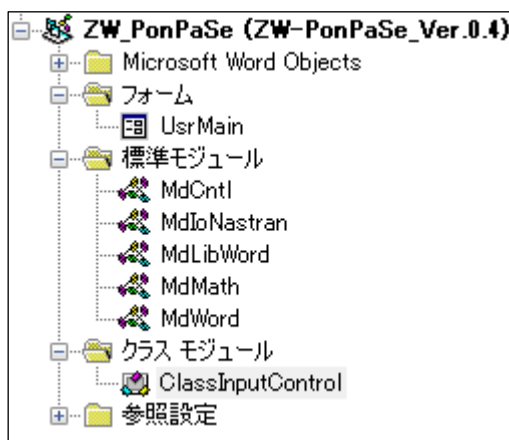


図 3-1 プロジェクト

4. システムの参照ファイル

本システムは、ヘルプファイルとして表 4-1 に示す使用説明書のファイルを使用している。

表 4-1 参照ファイル

ファイル名	ファイル内容
ZW-PonPaSe_Ver. 0.4_NASTRAN プレート要素自重等の静荷重による応力計算 Word マクロ使用説明書.pdf	ヘルプで表示する使用説明書

5. プログラムの詳細

本システムは図 5-1 に示すユーザー入力フォームの「NASTRAN アウトプットリスト使用ファイル 静解析結果」ファイルの要素応力を使用し、最大応力発生箇所の計算式を含めた応力計算結果と、計算に使用した箇所の NASTRAN アウトプットリストを Word 文書に出力する。

入力フォーム、標準モジュール及びクラスモジュールのサブルーチン及びファンクションの処理の内容を表 5-1～表 5-9 に記載する。

なお、定数、引数、変数の内容等および処理の詳細についてはソースコードのコメントを参照して下さい。

The screenshot shows a software interface for calculating stress. It includes the following elements:

- Window Title:** ZW-PonPaSe NASTRANプレート要素自重等の静荷重による応力を計算(Ver.0.4)
- Section 1:** NASTRANアウトプットリスト使用ファイル 静解析結果. It contains four input fields for load cases (荷重1 to 荷重4) and corresponding '参照' (Reference) buttons. The first two fields contain file paths.
- Section 2:** ミーゼス応力計算式の選択. It features two radio buttons for selecting the stress calculation formula. The first is selected.
- Section 3:** 処理要素. It includes a dropdown menu set to '入力要素', an input field for '要素番号' (6001), and another for '~要素番号' (6015).
- Buttons:** '参照' buttons next to each load case field, and '実行' (Execute) and '終了' (End) buttons in the bottom right.

図 5-1 ユーザー入力フォーム

表 5-1 メインコントロールルーチン(MdCnt1) (1/2)

Sub/Function	内容
その他のルーチン	
NASTRAN プレート要素 自重等の静荷重によ るミーゼス応力計算	マクロ開始ルーチン ・バージョンのチェック及びレジストリの削除 ・フォームの表示
VerCheck	試用版の場合は最大試用期間のチェック、バージョンのチェック及 びレジストリの削除 ・試用版の場合は最大試用期間のチェック ・バージョンの読み込み、バージョンを確認して異なればレジストリ を削除
PlateStatic	プレート要素の静荷重評価 4種類の荷重組合せ ・NASTRAN プレート要素計算結果応力の読み込み ・Word 初期設定 ・応力評価結果を Word 文書に出力
PlateStatic1	最大ミーゼス応力要素、指定要素、範囲要素での最大ミーゼス応力 要素、指定部材での最大ミーゼス応力要素、範囲部材での最大ミー ゼス応力要素の Word 文書出力 ・NASTRAN アウトプットリストより最大ミーゼス応力と、その要素 番号のインデックスを求める ・ミーゼス応力計算式と計算結果の Word 文書出力 ・NASTRAN プレート要素の検証用アウトプットリストの読み込み ・プレート要素ミーゼス応力検証用アウトプットリストの Word 文書出力
PlateStatic2	部材毎最大ミーゼス応力要素の Word 文書出力 ・CSV 形式ファイルのオープン及び全評価位置評価結果のヘッダー のみを CSV 形式ファイルに出力 ・全要素から部材番号を取得 ・部材番号のソート ・最大ミーゼス応力と、その要素番号のインデックスを求める ・全評価位置の応力と応力計算結果を CSV 形式ファイルで出力 ・最大ミーゼス応力要素の各荷重の応力値を求める ・ミーゼス応力計算式と計算結果の Word 文書出力 ・NASTRAN プレート要素の検証用アウトプットリストの読み込み ・プレート要素ミーゼス応力検証用アウトプットリストの Word 文書出力

表 5-2 メインコントロールルーチン(MdCnt1) (2/2)

Sub/Function	内容
その他のルーチン	
GetPlateMaxStress	NASTRAN アウトプットリストより最大ミーゼス応力と要素番号のインデックスの算出および全評価結果を CSV 形式ファイルに出力 <ul style="list-style-type: none"> ・ CSV 形式ファイルのオープン及びヘッダーの出力 ・ 解析結果の組合せ ・ 最大ミーゼス応力と要素番号のインデックスの算出 ・ 全評価位置の応力と応力計算結果を CSV 形式ファイルで出力 ・ 最大ミーゼス応力または選択要素番号の応力値を求める

表 5-3 ユーザー入力フォーム (UsrMain)

Sub/Function	内容
フォームのイベント	
UserForm_Initialize	入力フォームの初期設定 ・ ツールヒントの設定 ・ テキストボックスに初期データを表示 ・ ミーゼス応力の計算タイプの初期設定 ・ 処理要素の選択コンボボックスの設定 ・ 要素番号及び部材番号の設定
ButOk_Click	「実行」ボタンがクリックされた場合の処理 ・ テキストボックスのファイル名の取得 ・ ファイルが存在するかチェック ・ ファイル名をレジストリに保存 ・ ミーゼス応力計算タイプの取得 ・ 「選択」コンボボックスのインデックスの取得およびレジストリに保存 ・ 要素番号または部材番号の読み込み ・ 要素番号または部材番号をレジストリに保存 ・ プレート要素の静荷重評価
ButExit_Click	「終了」ボタンがクリックされた場合の処理 ・ マクロを終了
CbxSelect_Change	「処理要素」の「選択」コンボボックスをクリックされた場合の処理 ・ 「要素番号」のラベルとテキストボックス選択/非選択
OptCalc1_KeyDown	「計算式の選択」 $\sigma_{Mises} = \sqrt{((\sigma_1 - \sigma_2)^2 + \sigma_1^2 + \sigma_2^2) / 2}$ 」ラジオボタンでキーが押された場合の処理 ・ キーコードを判断して PDF ファイルを表示
OptCalc2_KeyDown	「計算式の選択」 $\sigma_{Mises} = \sqrt{(\sigma_x^2 + \sigma_y^2 + \sigma_x \times \sigma_y + 3 \times \tau_{xy}^2)}$ 」ラジオボタンでキーが押された場合の処理 ・ キーコードを判断して PDF ファイルを表示
CbxSelect_KeyDown	「処理要素」コンボボックスでキーが押された場合の処理 ・ キーコードを判断して PDF ファイルを表示
TxtSelect1_KeyDown	「処理方法」の「最初の番号」テキストボックスでキーが押された場合の処理 ・ キーコードを判断して PDF ファイルを表示
TxtSelect2_KeyDown	「処理方法」の「最後の番号」テキストボックスでキーが押された場合の処理 ・ キーコードを判断して PDF ファイルを表示
ButOk_KeyDown	「実行」ボタンでキーが押された場合の処理 ・ キーコードを判断して PDF ファイルを表示
ButExit_KeyDown	「終了」ボタンでキーが押された場合の処理 ・ キーコードを判断して PDF ファイルを表示
その他のルーチン	
ShowPdf	キーコードを判断して PDF ファイルを表示

表 5-4 ユーザーインプットフォームで使用する「参照」ボタン及び
「ファイル名」テキストボックスのクラス(ClassInputControl)

Sub/Function	内容
その他のルーチン	
NewBut	ボタンの作成
NewTxt	テキストボックスの作成
NewLab	ラベルの作成
GetFileName	「ファイルを開く」ダイアログを表示してファイル名を取得
ShowPdf	キーコードを判断して PDF ファイルを表示
イベント	
ButRef_Click	「参照」ボタンのクリック ・ ファイル名を取得してテキストボックスに表示
ButRef_KeyDown	「参照」ボタンでキーが押された場合の処理 ・ キーコードを判断して PDF ファイルを表示
TxtFile_KeyDown	「荷重」テキストボックスでキーが押された場合の処理 ・ キーコードを判断して PDF ファイルを表示

表 5-5 Word 文書出力ルーチン (MdWord)

Sub/Function	内容
その他のルーチン	
DocPlateStatic	プレート要素ミーゼス応力の計算式と計算結果の Word 文書出力 ・ タイトル荷重名の出力 ・ タイトル要素 ID、要素 No の出力 ・ 応力組合せ式の出力 ・ ミーゼス応力計算式の出力

表 5-6 NASTRAN ファイル入出力関連ルーチン (MdIoNastran) 共有ライブラリ

Sub/Function	内容
その他のルーチン	
GetNastForceElass	NASTRAN ばね要素計算結果の荷重の読み込み 全要素の読み込み ・読み込んだ行がばね要素のヘッダか判断 ・ばね要素番号と荷重の読み込み
GetNastForceBar	NASTRAN バー要素計算結果の部材力の読み込み 全要素の読み込み ・読み込んだ行のバー要素のヘッダか判断 ・バー要素番号と部材力の読み込み
GetNastForceNode	NASTRAN 節点およびスカラーポイント計算結果の反力の読み込み ・読み込んだ行が節点またはスカラーポイント反力のヘッダか判断 ・ID と反力の読み込み
GetNastInputMPC	NASTRAN インプットの MPC データの読み込み ・従属節点番号、従属節点番号の自由度及びスカラーポイント ID の読み込み
GetNastInputPBAR	NASTRAN インプットの PBAR データの読み込み ・断面積、Iz、Iy、ねじり定数、単位長さ当たりの非構造質量、応力リカバリ係数、せん断面積係数および Izy の読み込み
GetNastInputCBAR	NASTRAN インプットの CBAR データの読み込み ・CBAR の ID 及び PID の読み込み
GetNastPlateStress	NASTRAN プレート要素計算結果の応力の読み込み ・読み込んだ行がプレート要素のヘッダか判断 ・処理できる要素タイプか判断 ・要素応力の読み込み
GetNastList	NASTRAN 検証用アウトプットリストの読み込み 指定した ID の結果の読み込み ・読み込んだ行の 5 行目が処理するヘッダか判断 ・アウトプットリストの読み込み
ConvDouble	文字を Double に変換 Fortrtan と同様の読み込み(例:0.0D+01, 0.0-1)

表 5-7 Word 関連ルーチン(MdLibWord)共有ライブラリ (1/2)

Sub/Function	内容
その他のルーチン	
FSizeStatic	静荷重組合せ式のフォントサイズ設定
FSizeDynamic	静荷重と動荷重組合せ式のフォントサイズ設定
FSizeDynamicUp	静荷重と動荷重 SRSS 組合せ式の上付き文字のフォントサイズ設定
DocResultStess	応力計算計算結果の Word 文書出力 <ul style="list-style-type: none"> ・ 応力値行のタブ設定 ・ 応力計算結果の Word 文書出力
DocStaticLoadTab	静解析の応力または荷重値組合せ式のタブ設定 以下の 3 種類の設定 <ul style="list-style-type: none"> ・ 静荷重が 1 の場合 ・ 静荷重が 2 または 3 の場合 ・ 静荷重が 4 または 3 の場合
DocDynamicLoadTab	動解析の応力または荷重値組合せ式のタブ設定 タブ設定は以下の 6 種類の設定 <ul style="list-style-type: none"> ・ 静解析がない場合の 2, 3 方向 SRSS ・ 静解析がない場合の 2, 3 方向絶対値 ・ 静解析がある場合の 2 方向 SRSS ・ 静解析がある場合の 3 方向 SRSS ・ 静解析がある場合の 2 方向絶対値 ・ 静解析がある場合の 3 方向絶対値
DocCheckList	NASTRAN 検証用アウトプットリストの Word 文書出力 <ul style="list-style-type: none"> ・ ページ余白の取得 ・ タイトルの Word 文書出力 ・ テキストボックスの追加 ・ テキストボックスの線種の設定 ・ テキストボックスの書式設定 ・ 検証用アウトプットリストをテキストボックスに出力 ・ 検証用アウトプットリストの書式設定
GetCheckListLine	検証用アウトプットリスト全行の取得
DeleteAll	全文書の削除
PageBrake	ページの最後に移動して改ページ <ul style="list-style-type: none"> ・ ページの最後に移動して改ページ ・ 改ページ後に 2 ページ増えた場合は改行の行の最初の位置でバックスペースしてページを少なくする
PageBrakeCheckList	「NASTRAN アウトプットリストの抜粋」行で改ページ <ul style="list-style-type: none"> ・ 文書中から「NASTRAN アウトプットリストの抜粋」の位置を検索 ・ 「NASTRAN アウトプットリストの抜粋」行の最初に移動し改ページ
TabClear	タブ書式のクリア
TabSet	タブ書式の設定 <ul style="list-style-type: none"> ・ 適用するタブ位置の配置の指定 ・ タブのリーダーの書式設定

表 5-8 Word 関連ルーチン(MdLibWord)共有ライブラリ (2/2)

Sub/Function	内容
その他のルーチン	
DocSrssCopy	SRSS 式のルート内の式をクリップボードにコピー
DocSrssPaste	SRSS 式のルート内にクリップボードの式をペースト
InitWord	Word 初期設定 <ul style="list-style-type: none"> ・ ページ設定 ・ フォント設定 ・ 書式設定
InitDocPage	ページ設定
InitDocFont	フォント初期設定
InitDocParagraphFormat	書式の初期設定

表 5-9 計算関連ルーチン(MdMath)共有ライブラリ

Sub/Function	内容
その他のルーチン	
pi	円周率を求める
Max	1次元配列から最大値を求める
Min	1次元配列から最小値を求める
Prin2D	プレート要素主応力とミーゼス応力の計算
SortBubble	1次元配列をソート(バブル)
SortBubbleIdx	1次元配列をソート(バブル)しソート後のインデックスを求める
ValRound	数値の丸め(切捨て、四捨五入、切上げ、丸め無し)
RoundUp	数値の切上げ
RoundDown	数値の切捨て
IdCheck	ID がリストに含まれているかチェック <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次元の場合の処理 ・ 2次元の場合の処理
GetArrayDim	配列の次元数を求める
FromI	整数値を文字列 0 に変換し右詰めで指定した文字数にする
FromF	実数値を文字列 0.0 に変換し右詰めで指定した文字数にする
FromE	実数値を文字列 0.0E+00 に変換し右詰めで指定した文字数にする
GetDigits	配列の整数値の最大桁数を求める(プラス符号のみ)